



ウニガメとみどり
あいさつの大丸小

大丸小学校校長

坂本 慎一郎

『この里に 手まりつきつ
子どもらと遊ぶ春日は
暮れずとも』

(良寛)

新一年生十五名を迎えて、全校児童八五名で、平成十五年度をスタートした。

春日の昼休み校庭に目をやると、子どもたちの賑やかな声が響き渡る。縦割りで仲良くサッカーや野球を楽しんでいる子、木のぼりやアスレチックで遊んでいる子、シロツメグサで花輪を作っている子など実に多彩な光景である。思わず足が子どもたちの中に向いている。

一年女児学校とても楽しい、お姉ちゃん・お兄ちゃんがやさしい。一緒に遊んでくれるもん。」子どもの思いや願をかええるために、どんな教育活動や環境が必要なのか、子どもの言動から考えた昼休みの一コマだった。

そのためには、学校と家庭・地域の連携はもとより、町当局

をはじめ関係諸機関との連携交流が大切だと思われる。

子どもたちの夢を膨らませるために、職員一同今後も「ふるさとを意識させる活動」を工夫していきたい。そのことが「大丸大好き、大丸大好きな子」を育てることになるのではないだろうか。

平成十四年度は、各学年次のようにネーミングした。十五年度はどんな学年になるか、子どもに成長するか、楽しみと期待でいっぱいである。

【本読み・読み聞かせ大好き一年生、元気いっぱい・働きもの二年生、大丸発見・もの知り三年生、思いやり・素敵な出会い四年生、挑戦・あきらめなかつた五年生、大丸小の自覚と誇りを認識した六年生】

『一人ひとり違う種をもつ
その花を咲かせることに
いっしょうけんめいに
なればいい』

(スマップ)

『世界に一つだけの花』

本校では、十五年度教育課題解決のため「足もとからの教育、その気にさせる教育」をめざして、今できる旬の教育を大切に、個に応じ個の伸長を図りたい。

◆教育課題

学校

- (1) 確かな学力の定着
- (2) 心の教育の充実
- (3) 生活科、総合的な学習の時間の充実
- (4) 健康教育の推進
- (5) 国際化、情報化への対応

児童

- (1) 元気なあいさつ
- (2) 話を聞く態度
- (3) 本をたくさん読む
- (4) 正しい言葉遣い
- (5) 作業、仕事を進んで時間いっぱい

『どの子にも
涼しく風の
吹く日かな』

(飯田 龍太)

広報クイズ

第八十四回

【当選者発表】

◆問題

今年の干支は何でしょう。

(正解)
羊

正解者の中から、抽選の結果、次の方が当選されました。

岡別府五二〇一四番地
入部 睦子さん



※広報クイズは、しばらくお休みいたします。

編集後記

小中学校の卒業、入学式も終り心からお喜び申し上げます。議会としても教育環境の整備に、なお一層の努力を払って参ります。国内外緊張した事件や紛争が起こり、私達社会の中にも影響を与えており、速やかに解決して欲しいものです。

これまで「議会だより」を通じて、わかりやすく、しかも正確に情報提供をして参りました。たくさんの皆様方の御意見もいただきました。町村合併を目前に控え、景気低迷、少子高齢化など山積する課題に対し、これからも議会として政策能力を発揮しなければなりません。今回議員や広報委員としての任期が終了致します。改選後は新たな広報委員により議会だよりをお届けして参ります。今後ともよろしくお願い致します。